

- 8 国内市場 産業ガスメーカー値上げの春に後れを取るな | ヘリウム等使用冷凍機の規制緩和 | 2022年度水素ステーション整備補助金第一次公募開始 | アドバン理研、圧力容器を使わない窒素PSA、120Nm<sup>3</sup>/h (4N) まで拡大 | 太陽日酸、極低温反応制御システム発売
- 15 時事コラム パナソニックコネクテ、操作性の簡易さ追求した新フルデジタル溶接機シリーズを販売開始 | 太陽日酸、回転管溶接で生じる回転軸のズレを自動で調整する装置を販売 | 三菱化工機、カーボンニュートラルファンドへ2億円出資決定 | 岩谷産業、カセットガスホットプレート新発売 | ジェ・スク、除菌用炭酸次亜水を増産
- 16 経営 久しぶりの上場で業界をインスパイア! 東京高圧山崎TPM上場
- 17 トピックス 出光興産とスマートスキャン、ガソリンスタンドで受けられる移動式脳ドックサービス開始
- 18 海外市場 ハネウェル、吸入薬の開発でアストラゼネカと提携 | エア・リキード、ノルマンディ200MW水電解プロジェクトに政府が出資へ
- 21 容器 JIMGA、2021年度高圧ガス容器回収運動結果発表
- 22 水素エネルギー HySTRA、日豪水素サプライチェーン完遂記念式典挙行 | 三菱化工機、福岡市が進める下水バイオガス由来水素を使う水素ステーション共同運営者に決定 | フジキン、新潟大学と水電解装置用電極触媒の共同研究開始
- 23 流通回路 サイサン、アンドホテル奈良若草山へカーボンオフセットLPガス供給開始 | サイサン環境保全基金、2022年度助成決定書授与式 | トーヨー南海、4月1日から営業開始 | JIMGA、「緊急災害時在宅酸素療法患者支援に係る調査等一式」に係る「手引書、報告書」を提出 | 東京ガスケミカル、「Suidei」が日本ガス協会技術賞を受賞
- 24 決算 トリケミカル研究所
- 27 DATA 東京電力特別高圧燃料調整費
- 28 最新工業ガス関連株式会社 市況
- 29 ガスレビュー指標 機器編
- 30 組織人事 エア・ウォーター | ダイヘン | 三菱化工機 | 住友精化 | 大日本アガ、社長交代 | マツモト産業 | 鈴木商館 | 渡商会 | 東京ガスケミカル
- 32 短信 日本酸素ホールディングス、健康経営優良法人に認定

## 圧力容器を使わない窒素PSA 120Nm<sup>3</sup>/h (4N) まで拡大

アドバン理研

アドバン理研(辻泰成社長)は、発生能力40Nm<sup>3</sup>/h (4N) 以上の窒素PSA製品で主力となった「LHPシリーズ」において、能力を120Nm<sup>3</sup>/h (4N) まで拡大した新機種を市場投入する。7月1日に発売、5月1日より事前予約を受け付ける。

同シリーズは小型PSAユニットを複数台連結することで、1台のパッケージ型窒素PSAに仕上げた同社独自の製品。ユニットは第二種圧力



小型PSAユニットを6台内蔵したLHPシリーズ120Nm<sup>3</sup>/h機

容器適用外となる内容積40ℓ未満のアルミ製タンクを8本使用。1ユニットで20Nm<sup>3</sup>/h (4N) の発生能力を実現している。

これまで、このユニットを組み合わせた発生能力40Nm<sup>3</sup>/h、60Nm<sup>3</sup>/hを販売していたが、7月からは最大6ユニット連結の120Nm<sup>3</sup>/hまでをラインナップに加える。従来製品と同様、屋外タイプ、組込型ユニットタイプの販売にも対応。遠隔監視・操作機能を有し、別置の子機ユニットを同期させる発生量アップにも個別対応する。

辻社長によると、LHPシリーズはすでに同社が販売する40Nm<sup>3</sup>/h以上の製品で6割を占める。昨年にNC旋盤を導入したことによりPSAユニットに使用するアルミ製タンクの自社生産能力は1日

60本が量産できる体制となった。

各種部品・部材の納期長期化、値上げが続く中で、加工を外部に頼らない体制となったことは、納期面、コスト面で有利に働いているという。

同シリーズのPSAユニット出荷台数は既に年間500ユニットに達しているが、更に今回の機種追加に伴い、年間1000ユニットの出荷を見込んでいる。

6月期決算は初の売上高10億円越えに

また同社は今年度の6月期決算で、売上高が初の10億円越えとなる見通しとなった。

コロナ禍ではあったが、国内外で需要家の積極的な設備投資があったことが要因。このため、同社も今期は4月までで出荷台数が前期比10%増、売上高が同30%増でそれぞれ推移している。